

新型bZ4X

2025年10月～2026年1月
日本国内登録車 No.1を4ヶ月連続で達成

- ・ 累計受注:14,000台超(2026年1月末時点)
- ・ 受注開始:2025年10月9日
- ・ 1万台突破:2025年12月20日
- ・ 月販目標1,700台/月を大きく上回る結果に



そのわけとは…

もっと使いやすく

▽航続距離の増加

各駆動方式における一充電走行距離*

Zグレード	一充電走行距離
FWD	746km
4WD	687km

*WLTCモード

ちなみに…

東京から大阪
約500km
東京から青森
約700km

- バッテリーのセル数を従来の96個から104個(74.7kWh仕様)とし、総電力量をアップ。また、eAxleのエネルギーを約40%削減し、電費の大幅な向上に寄与
→ただ電池の総電力量(セル数)を増やすだけでなく、いかに電気をロスなく走行に使えるかに注力

▽低温での急速充電時間の短縮

- 充電前にバッテリーを予め温めることが出来る「バッテリープレコンディショニング」機能を搭載
→外気温が-10°Cの環境下でも150kWで約28分*で急速充電が可能

*150kw急速充電器の場合。駆動用電池容量10%~80%までのおおよその時間

もっと乗りやすく

「BEVを買った」というよりは、「スムーズでパワフルなSUVを買った」と思っていただけるような乗っていて楽しいクルマを目指して

▽加速性能の進化

- いかにスムーズに加速していくかにこだわり、ショックのないのびやかな加速を追求
- 4WDモデルはフロント側eAxleの出力を従来型の約2倍とし、システム最大出力252kWを発生。0-100km/h加速は6.9秒から5.1秒と大幅に向

システム最大出力*の比較

	従来	新型
システム最大出力(kw[PS])	160 [218]	252 [342]

0-100km/h加速の比較

	従来	新型
0-100km/h 加速(秒)	6.9	5.1

*社内算定値

▽回生ブレーキの改良

- 回生ブレーキの減速度をパドルスイッチにて切替可能とし、4段階の減速度からドライバーの感覚に合う走りを実現

もっとかっこいい

▽外装 ~ダイナミックさとスポーティさを感じるスタイリング~

- ・ 真一文字に伸びるハンマーヘッド形状が、スポーティな印象を演出
- ・ フード中央から両サイドに伸びるLEDデイタイムランニングランプ/LEDクリアランスランプにより、昼も夜もしっかり見えるような印象的な見栄えに



▽内装 ~運転者だけでなく、同乗者も快適に

- ・ 「本当に居心地がいい空間はどんなものか？」を追求。広さを演出する水平基調の薄くシンプルなインストルメントパネルや、新しいデジタル体験を提供できるコンソール類を採用
- ・ パノラマルーフ(Zグレードのみ)はセンターインフォースメントをなくし、より開放的な空間を実現



価格面でも魅力的な選択肢に

▽ 「BEVをマルチパスウェイの一つの選択肢にしたい」という想いから、以下の2点を設定

- ・ 補助金を反映した後の価格を、同等車格のHEV(ハリアー、現行RAV4など)と同程度にする
- ・ 所有時のお客様の実負担金額(TCO:Total Cost Ownership)においても保有期間のエネルギーコストや税金などを加味し、納得感のあるレベルを目指した

bZ4Xに関する減税措置、補助金(2026年1月時点)

グレード	駆動	メーカー希望小売価格(税込)	優遇額合計	エコカー減税	グリーン化特例	CEV補助金
Z	FWD	550万円	約94.85万円	約3万円	約1.85万円	130万円 ※2026年 1月1日以降 登録車 2025年 12月以前は 90万円
Z	4WD	600万円				
G	FWD	480万円				

充電不安の払拭に向けた取り組み

家の
充電
(普通充電)

トヨタ純正普通充電器を発売(トヨタ初)

▽家庭用充電器があることで…

- ・いつでもクルマを満充電にすることができ、出先での充電の心配が軽減
- ・夜間の安い電力を使用して充電、といった経済的なメリットも

▽トヨタ純正普通充電器の特長

- ・6kW出力に対応。夜から充電して翌朝には満充電
- ・多種多様な住居やクルマに自然に溶け込むデザイン



外出先で
の充電
(急速充電)

外出中の充電をもっと便利に 新充電サービス「TEEMO」がスタート

TEEMO

▽TEEMOとは

- ・全国のトヨタ/レクサス店に設置されている急速充電器をより便利に利用できる充電サービス

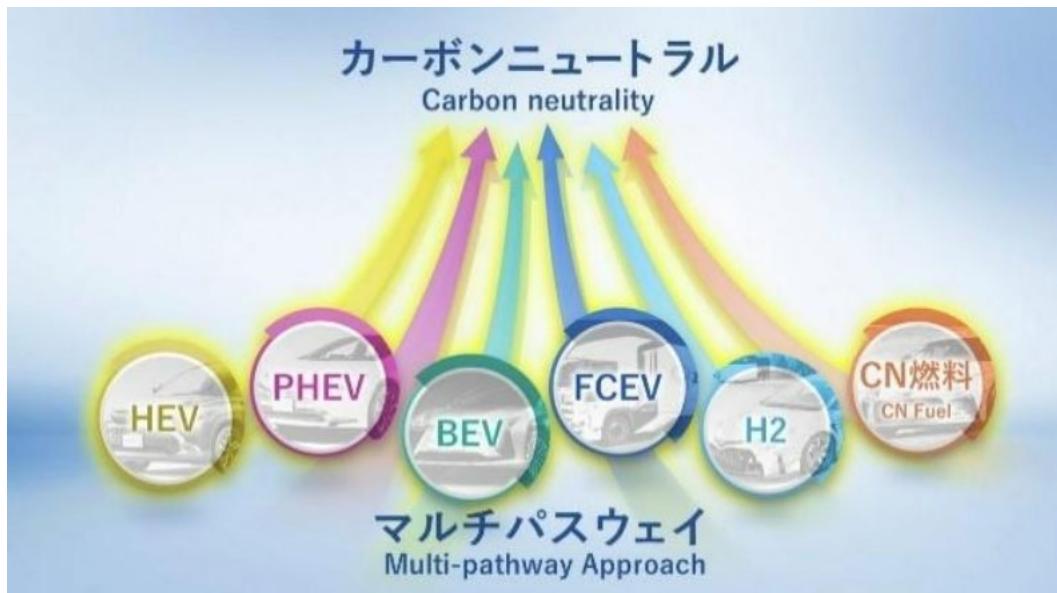
▽TEEMOの特長

- ①基本料金0円。必要な費用は実際に利用した時間分だけ
- ②150kW級の高出力の充電器が利用可能
- ③トヨタ車だけでなく、あらゆるメーカーのクルマも利用可能
- ④アプリで予約/決裁可能。待ち時間無しでスマートに充電
- ⑤新型bZ4Xご購入のお客様は1年間充電料金無料

「敵は炭素」トヨタのカーボンニュートラルへの考え方

△マルチパスウェイ

- トヨタはカーボンニュートラルの実現に向けて、エネルギーの未来と「お客様が生活される地域ごとの現実」に寄り添い、マルチパスウェイを軸とした多様な選択肢の提供に取り組んでいる



△「BEVにも本気」bZ4XだけじゃないTOYOTAブランドのBEV

- カーボンニュートラル社会の実現に向けたマルチパスウェイの取り組みのもと
世界各地でバッテリーEV(BEV)のラインアップを拡充

2025年にグローバルで発表したBEV

北米



中国



bZ Woodland

bZ7

*日本ではbZ4Xツーリング

欧州



TOYOTA C-HR+

日本



e-Palette